

議会だより

東くらし

第129号

平成28年
5月10日発行

発行 鹿児島県東申良町議会
編集 議会広報編集委員会
電話 0994-63-3132(直通)



ふるさとを満喫

— 第12回関西かごしまファンデー —

28年度「骨格予算」でスタート	2
簡易郵便局設置議案を可決	5
「一般質問」	
にぎやかタウン雪山の今後の対策等	6
地域おこし協力隊と生姜づくりを復活	11

84万円ですスタート

平成28年第1回定例会（3月議会）は、3月11日から3月23日までの13日間の会期で開きました。

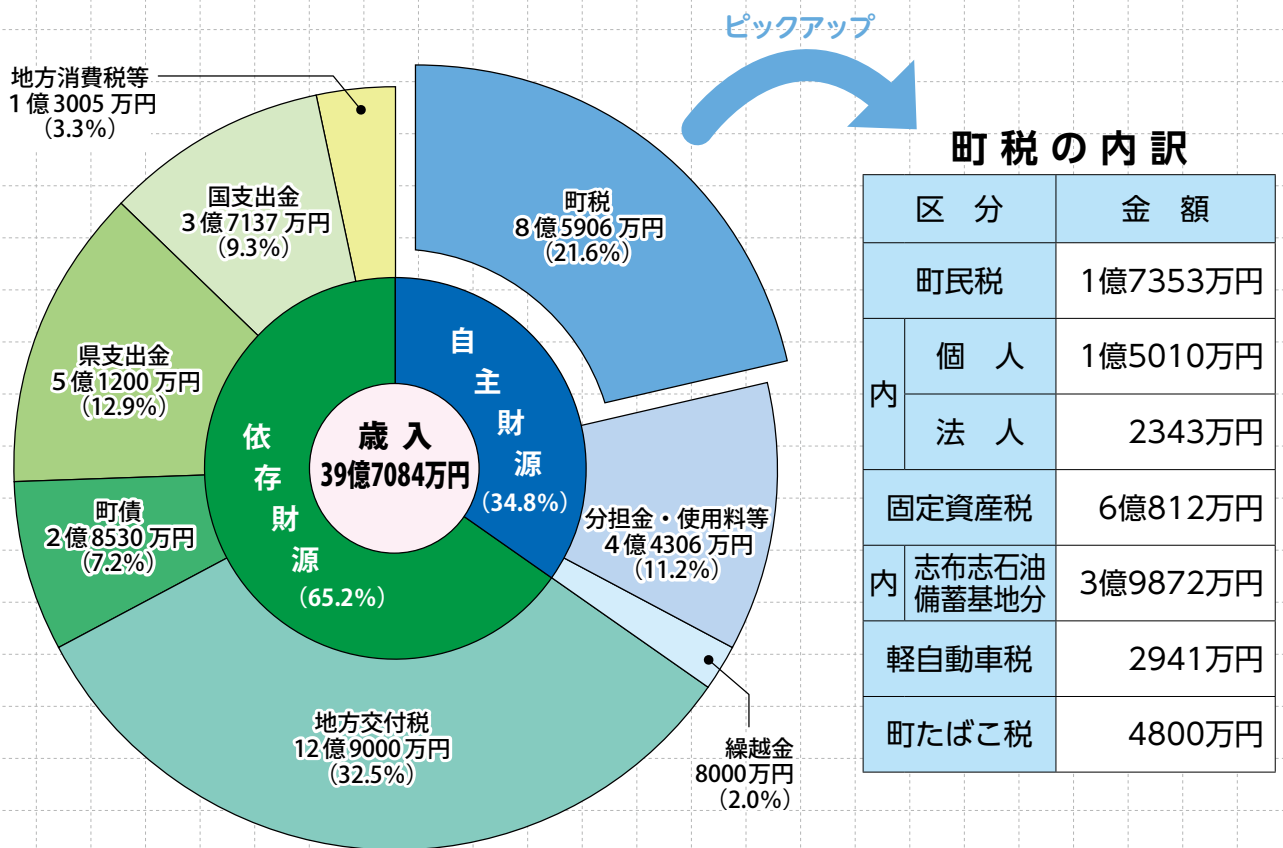
今定例会では、当初予算6件、補正予算6件、同意1件、承認3件、陳情2件、単行議案20件等を審議しました。

また、一般質問には3人の議員が登壇し、執行

部に質問を行いました。

平成28年度の一般会計並びに5特別会計当初予算は、町長提案のとおり全会一致で原案可決しました。

今回の一般会計当初予算は、去る2月28日に町長選挙が行われたため「骨格予算」とし、政策的要素の高い事業は除いて編成されています。



総務課関係

- ・LED照明灯設置工事 1100万円
- ・消防車購入費 2600万円
- ・防火水槽設置工事費 1700万円



福祉課関係

- ・保育所入所措置費 2億6216万円
- ・臨時福祉給付金 5185万円



主な予算の使いみち

平成28年
3月議会

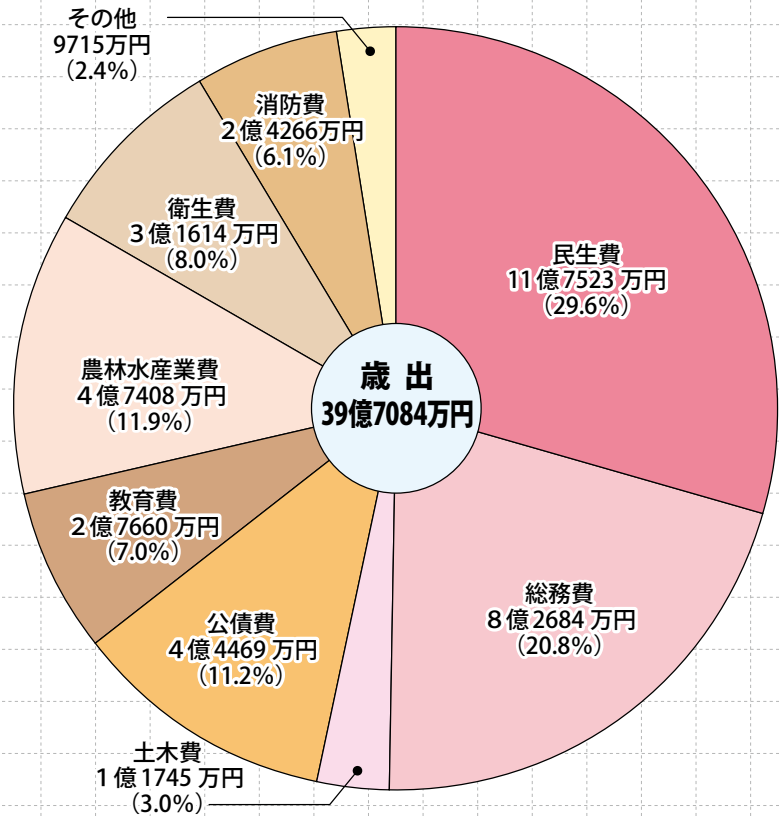
一般会計「骨格予算」 39億70



28年度特別会計当初予算額

(単位：千円以下切り捨て)

国民健康保険会計	13億7616万円
介護保険会計（保険事業勘定）	9億3100万円
介護保険会計（サービス事業勘定）	377万円
後期高齢者医療会計	9331万円
簡易水道事業会計	2億6342万円



教育委員会関係

- ・ 飛散防止フィルム等工事請負費 1100万円
- ・ 校舎増築設計管理委託料 500万円



経済課関係

- ・ 活動火山周辺地域防災
営農対策事業補助金
（園芸振興費）7085万円
（畜産振興費）5766万円



企画課関係

- ・ ふるさと納税報償物品 1800万円
- ・ ふるさと応援基金積立金 3600万円
- ・ 第5次定住促進住宅工事
請負費 1億2785万円



3月定例会の提出議案(予算以外)と採決結果

議案番号	議案名等	採決結果
承認第1号	専決処分の承認を求めることについて(平成27年度東串良町一般会計補正予算(第6号))	全会一致で承認
承認第2号	専決処分の承認を求めることについて(東串良町税条例等の一部を改正する条例の一部を改正する条例)	全会一致で承認
承認第3号	専決処分の承認を求めることについて(平成27年度東串良町一般会計補正予算(第7号))	全会一致で承認
議案第1号	東串良町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	全会一致で原案可決
議案第2号	東串良町特別職の職員の諸給与に関する条例の一部を改正する条例について	全会一致で原案可決
議案第3号	議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について	全会一致で原案可決
議案第4号	東串良町行政不服審査会条例の制定について	全会一致で原案可決
議案第5号	行政不服審査法の改正に伴う関係条例の整備等に関する条例の制定について	全会一致で原案可決
議案第6号	東串良町行政不服審査法の規定による提出資料等の写し等の交付に係る手数料に関する条例の制定について	全会一致で原案可決
議案第7号	地方公務員法の一部改正に伴う関係条例の整備等に関する条例の制定について	全会一致で原案可決
議案第8号	東串良町人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部を改正する条例について	全会一致で原案可決
議案第9号	東串良町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部を改正する条例について	賛成7, 反対2 賛成多数で原案可決
議案第10号	東串良町簡易郵便局設置条例の制定について【5ページに関連記事】	全会一致で原案可決
議案第11号	郵便切手、郵便ハガキ及び印紙購入基金条例の制定について	全会一致で原案可決
議案第12号	特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	全会一致で原案可決
議案第13号	東串良町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の全部を改正する条例について	全会一致で原案可決
議案第14号	東串良町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法の基準に関する条例の全部を改正する条例について	全会一致で原案可決
議案第15号	東串良町重度心身障害者医療費助成条例の一部を改正する条例について	全会一致で原案可決
議案第16号	東串良町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	賛成7, 反対2 賛成多数で原案可決
議案第17号	東串良町立学校設置条例の一部を改正する条例について	全会一致で原案可決
議案第18号	病虫害航空防除等分担金徴収条例を廃止する条例について	全会一致で原案可決
議案第19号	東串良町道路占用料徴収条例の制定について【5ページに関連記事】	全会一致で原案可決
議案第20号	東串良町法定外公共物の管理に関する条例の一部を改正する条例について	全会一致で原案可決

簡易郵便局設置議案を可決

柏原郵便局が簡易郵便局へ変更されることに伴い、町では簡易郵便局を町で運営するため設置議案を提出しました。

郵便局が撤退すれば地域住民の生活への支障が懸念されるとして提案されたもので、議会では委員会等で十分な審議を重ね、本会議において全会一致で可決しました。

業務運営の時期は未定

日本郵便株式会社では、柏原郵便局の簡易郵便局への移行時期を、平成28年度（予定）としています。町では簡易郵便局を開局するにあたり、今後日本郵便株式会社との間で諸手続を進めていくこととなります。

このため、町で実際に業務を運営する時期は定まっておりません。

場所は鹿児島興業信用組合 柏原支店跡地

簡易郵便局業務は、鹿児島興業信用組合柏原支店の建物を利用して行われます。事務従事者は2人が配置されます。

また、同建物内では「買い物難民フォローアップ事業」や「暮らしの保健室事業」なども展開する計画となっております。



簡易郵便局が設置される「鹿児島興業信用組合柏原支店」

こうした一体の事業を行ううえで、建物の改修費や運営費は、国の地方創生加速化交付金で「柏原地区小さな拠点づくり事業」として申請し交付決定されたものです。

買い物難民フォローアップ事業

※ 集落支援員を2人配置し、地域住民の見守り・目配り、新たな活動等創発支援を行う。また、地元スーパー・物産館と提携して日用品などの販売を行うとともに、生鮮食品等の配達事業も併せて行う。

暮らしの保健室事業

健康体操の開催など介護予防、認知症予防の場としてプログラムの提供と、医療や暮らしに関する相談を行う。カフェ機能も設け、高齢者等が気軽に立ち寄り、滞在できる仕組みを構築する。カフェでは、社会福祉協議会や老人クラブと連携して生きがいづくりプログラム等を実施する。

集落支援員とは…

町からの委嘱を受け、町職員とも連携しながら、集落への「目配り」として、集落の巡回、状況把握等を行います。総務省は、集落支援員の設置、集落点検及び話し合いに要する経費について、地方自治体に対して特別交付税により支援します。

年間165万円程を見込む 道路上の電柱等から占用料を徴収



町では、道路の占用を許可した者から徴収する、道路の占用料の額及び徴収方法について定めました。

現在、町道や農道に九州電力の電柱が534本、NTTの電柱が443本あります。今回の徴収条例の整備により、こうした町道上にある電柱等に対して道路占用料を徴収することとなります。このことにより、町では年間165万円程の収入を見込んでいます。

人事案件・陳情

3月定例会には人事案件1件、陳情2件も提出されました。

審議の結果、全会一致で次のとおり決めました。

■固定資産評価審査委員会委員

くしげ あきお
榎下 昭男 さん (新任)

任期：平成28年3月23日～

平成29年9月11日

住所：岩弘1280番地1

■永峯集落の農道改良整備に関する陳情書

陳情者：福永康博（川東732-2）外11人

結果：採択

■精神障がい者の交通運賃割引を求める意見書提出を求める陳情書

陳情者：小蓬原昭雄（新川西4995-11）

結果：採択（国に意見書を提出）

一般質問

3 議員が登壇

町政を問う

※内容は要約してあります。詳細は会議録(設置案内 P.12 に掲載)をご覧ください。



◆下伊倉地区津波避難タワー
平成 28 年 3 月 25 日完成
高さ 8m・屋上は面積約50㎡・避難対象人数約100人、防災倉庫があり発電機や毛布等を備蓄している。

Q 洲崎地区に
防災避難タワーを
A 国の補助
事業等を活用し
取り組みたい



西園 貞美 議員

西園 洲崎地区において、
海拔1〜2メートル、0メー
トルのところもあり、津波の
際に町内で一番危険な地区で
ある。ぜひとも防災避難タ
ワーが必要である。
この件について、町長の考
えを尋ねる。

町長 鹿児島県が平成26年
9月に公表した南海トラフ巨
大地震に伴う津波の想定によ
ると、波見港への津波到達時
間は約39分である。最高津波
水位は7・2メートルと公表
されている。洲崎地区は標高
3メートルに位置しており、

Q 集団お見合いが
できないか
A 積極的に取り組んで
いきたい
西園 町内には30代、40代
あるいは50代の独身者がたく
さんいる。この方々に結婚の
お手伝いしたらどうか。

2メートル未満の浸水深とな
ることが想定される。
また、おとし本町は津波
避難対策特別強化地域に指定
されている。このことから
住民の津波に対する不安を解
消するためにも、防災避難タ
ワー設置の必要性については
私も十分に承知している。
今後地域の実情や津波浸水
水域想定などについて早急に
しかも十分に精査し、防災避
難タワーの設置が必要である
と判断した場合、有利な国の
補助事業等を活用する方法で
取り組んでみたい。
西園 万が一、津波が来た
としたら、まず柏原から安留
の海岸に一番にやってくる。
その中でも洲崎地区の海拔が
最も低いので一番危険な地区
であろうと思う。ぜひとも早
急の実施をお願い
したい。



町長 現在本町において
は、町単独での婚活イベント
は実施していないが、平成26
年度に大隅5ヶ町で婚活連絡
協議会を発足し、合同婚活イ
ベントを実施している。
集団お見合いをする前に、
本町の独身者がどれほどの
ニーズを感じているのか、企
画課内に相談担当を配置し、
独身者のデータ登録が必要で
はないかと考えている。その
内容次第で、本町での婚活イ
ベントを開催する場合、農業
委員会、商工会、青年団、J
A女性部などの協力的体制づく
りも必要となる。
また、婚活イベント参加者
については、イベント開催前
にマナーや身だしなみ、異性
とのコミュニケーションのと
り方などについて講習会を企
画していきたい。さらにそう
したイベントへの積極的な情
報提供なども行っていきたい。
若い世代が期待を持って結
婚を決定し、安心して子供を
産み育てることができるよう
な地域社会を形成することが
私の望みでもあり、笑顔あふ
れるまちづくりのためにも結
婚のお手伝いも積極的に取り
組んでいきたい。

Q にぎやかタウン雪山 今後、 どうするのか

A 対策工法等の 報告書を精査し、住民の 意見を聞き、最善を尽くす



前田 隆 議員

前田 にぎやかタウン雪山の土地陥没について、現在の状況と今後の対策について尋ねる。

町長 新たな陥没が起きてくるなど、大変な状況であることは十分承知している。去る3月2日に第4回目の宅地変状検討委員会が開催されている。この中で最終的な検討が行われ、対策工法等の報告書が18日には提出される予定である。まずはその報告の内容を十分に精査する必要がある。その上で早急に住民説明会を開き、住民の方々の意見をお聞きし、今後の対策を講じていきたい。

私は住民や議会の声を大事にしながら、にぎやかタウン雪山の住民の皆様が一刻も早く安心・安全な生活が送れるよう最善を尽くし取り組んで

いきたい。

Q 柏原地区の定住対策は、 買い物弱者対策は A 住む人のニーズを把握 する。

集落支援員を活用する。

前田 柏原地区の定住対策について、どのような考えを持っているか。

町長 地方創生の総合戦略でも、その手法について検討されている。例えば柏原地区は、賃借料を無料化にするとか、池之原地区のような大規模分譲ではなく小規模な分譲でもいいのではないかと考えている。

柏原地区には学校も保育園もある。また、病院も二つある。養護老人ホームもある。漁協もあり、備蓄基地もあり、ルーピンの咲き誇る柏原海岸



地元の特産品を求める買い物客でにぎわう「物産館ルピノンの里」

もある。こうした外に誇れる利点も生かし、住む人のニーズも十分に調査・把握して、無理、無駄のない定住事業を計画し実行したいと考えている。

併せて、空き家、空き店舗の再利用等についても同時に進めていけたらと思う。

前田 買い物弱者対策については、どのような考えか。

町長 総務省の集落支援員制度（5ページに関連記事）を活用し、買い物弱者対策に取り組んでいきたい。この集

落支援員は地域の実情に詳しく、集落対策の推進に関して知識を有している人材に自治体が委嘱し、活動費は総務省から支援員1人当たり350万円が財源措置される。集落支援員は地域住民の見守りや目配り、新たな活動などの支援を行う。

また、国道448号への第2の物産館というのも視野に入れた考えを持っている。このことについては、おいおい財政状況を見極めながら検討していきたい。

Q 学校給食を補助する 考えはあるか

A 先進地を調査し、 実施できるような 取り組みたい

前田 子育て支援や定住促進の観点から、学校給食の補助についてこれまで5年間調べてきた。前町長は学校給食法の関係で補助はできないとの考えであった。こうした中、南大隅町はもう既に始めており、肝付町も実施するという話も聞くが、町長の考えはどうか。

町長 定住促進事業と併せて子育て世帯に魅力ある政策

の一つでもあると考える。また、教育について考えるとき、町づくりの中心を担う子育て世帯を応援することこそ、教育行政の役割だと考えている。学校給食費の補助は全国的に取り組んでいる自治体も多く、近隣町でも一律1000円としているところもある。こうした先進地を十分に調査し、早急の実施できるように取り組んでいきたい。

Q とうふ事業の継続と 制度充実の考えは A 事業は継続する。

支援策は和牛振興会等 の声を聞く。

前田 優良肉用繁殖雌牛更新促進事業（とうふ事業）の継続と、更なる制度充実の考え方について尋ねる。

町長 これまでの事業の残額の一部を基金として積み立てているので、これを原資として事業を継続したい。また、現行制度の充実を図ることについては、母牛の入れかえを推進しスピードアップを図りながら、多頭飼育への支援策も、和牛振興会を始めとする畜産農家の声を聞きながら検討していきたい。

Q 安倍内閣の政治手法を どう評価するか

A 山積する諸課題に 積極的に 取り組んでいる



宮地 利雄 議員

宮地 私は町長選挙直前ではあったが、2人の方々にも公開質問状を送付し、今日日本が直面している多くの問題について、それぞれがどのような認識を持っているのかを問うた。今回の一般質問ではその回答の内容について尋ねる。まず安倍内閣をどう評価するのかという問いに対して、町長は「支持する」と回答しているが、どういう見解なのか。

町長 安倍内閣の政治姿勢についてどう評価するかは、今年の参議院選挙が正念場となるのではないかと。今朝の新聞では春闘について、「法人税は東日本大震災の復興税を前倒しで打ち切り、逆に減税し、企業の内部留保は354兆円に積み上がって

いる。内需拡大で安定的な成長を実現するには、労働条件の底上げが欠かせない」と出ている。経営側の自覚が問われているということ、これは国政の大きな問題だが、日本国のリーダーとして山積する諸課題に積極的に取り組まれていることを評価する。

Q TPPに対する見解は 現行制度を守り抜いた とは認識していない

宮地 ただ今の新聞記事の通りの感覚であれば、安倍内閣は「支持できない」と回答すべきではないか。

次にTPPについては「反対」という回答であったが、見解はいかがか。

町長 交渉からの除外を求めた重要5品目についての国会決議について、今回の交渉は現行制度を守り抜いたとは認識していない。

Q 安保法制に対する見解は 政府の丁寧な説明が必要と考える

宮地 国民に大きな不安を与えている安保法制、いわゆる戦争法について賛否を問うた質問には、賛成でも反対でもなく「その他」と回答しているが、どのような見解か。

町長 科学技術の発達で兵器が向上し、予測不可能な攻撃が起こりうるという変化がある。

安保法制については、国民の理解が進んだとは言えないと認識している。政府の丁寧な説明が必要だと考える。

Q 原発依存のエネルギーへの見解は

宮地 町長は原発依存のエネルギーに対して「反対」と



みんなが笑顔になる給食時間

の回答をしているが、どのような見解か。

町長 原発に依存しなくても済むのであれば一番いいと思っている。自然の再生可能エネルギーの開発に最大限の努力をし、原発依存分をカバーできるようになるまでは、安全性に十分注意して原発の維持継続もやむを得ない選択肢ではないか。

Q 給食費の助成について、法との関係は

宮地 この問題も公開質問状で質問したことである。

前町長の回答もあなたの回答も実施に前向きな回答であったと考える。特に前町長は「平成28年度以降、軽減策を講じる予定」とはっきり時期を示して回答している。先ほどの同僚議員への答弁では「先進地を調査して取り組みたい」と言われた。学校給食法との関係などについてはいかがか。

町長 関係条例等の整備をしなければならぬし、財政状況も見ながら検討したい。

町民に インタビュー Vol.11

このコーナーは、町民の意見を幅広く聴取し、行政に反映する目的で企画しました。

今回は、地方創生特別委員会が関西鹿兒島県人会総連合会主催による「かごしまファンデー」に出席し、県下各市町村の特産品の出品状況と本町特産品の販売状況等を調査する機会に、関西・東くしら会の馬渡節雄会長にお話を伺います。

議長 関西地域で活躍されている東串良町出身者で構成される関西・東くしら会の現状と活動について伺います。

馬渡 関西地域に居住する「ふるさと東串良」の出身者が2年毎に総会を開いて親睦と交流を図っています。また、関西鹿兒島県人会総連合会や近畿大隅連合会が主催する各種事業への参加と協力を積極的に行っています。「かごしまファンデー」で

は、計画・立案会議に出席して実施事項を決め、私たち東くしら会は、前売り入場券の販売とゲスト歌手（今年細川たかし）の送迎などを担当しました。また、鹿兒島焼酎祭りや薩摩義士顕彰大祭への協力参加・甲子園高校野球県代表出場校の応援など活発に活動しています。この他、関西のスーパーで販売されているピーマン・きゅうりの販売価格の情報等を町の園芸振興会と役場企画課に伝えています。

議長 馬渡会長を中心に関西地域で頑張って居られる「東くしら会」の総会の状況と役員の方々を紹介してください。

馬渡 関西・東くしら会は、今年の秋、記念すべき第10回の総会を迎えます。

前回の第9回「関西・東くしら会」の総会は、会員126名が出席して盛大に行われました。故郷東串良の奥園町長を始め、議会や経済団体などの関係者の他に、関西・東くしら会の楠木会長や近畿大隅連合会の安藤会長にも出席を頂きました。

総会では、役員改選と活動報告及び収支報告を承認し、懇親会では故郷の焼酎とつけあげなどに舌鼓を打ちながら、歌謡ショーやカラオケ大会と数多い賞品の抽選会で盛り上がりました。今回は、若年層の出席を促すために懇親会の内容など創意工夫したいと考えています。

尚、主な役員の中学卒業年と出身地は、次のとおりです。



▲関西東くしら会のみなさん（中央が馬渡節雄会長）

会長	馬渡節雄	33年卒	川西
副会長	中尾一利	31年卒	柏原
副会長	永野康範	32年卒	柏原
副会長	俣瀬伸幸	40年卒	川西
幹事長	堂地敏郎	45年卒	北部
副幹事長	田中義忠	39年卒	岩弘

議長 故郷東串良への想いと要望を伺います。

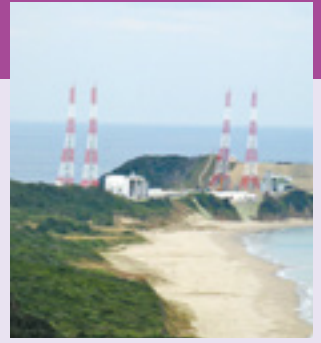
馬渡 私たちは、東串良に生まれ学び育ちました。東串良は愛すべき私たちの「故郷」です。私たちは遠く関西の地に在っても、故郷東串良に想いを寄せて、町の安寧と発展を願っています。私たちが誇れる町づくりを期待します。

議長 馬渡会長には神戸製鋼所を定年退職後、ピアノ音楽や海外旅行を楽しんでおられますが、今後とも故郷東串良との相互の連携を図り、関西・東くしら会の益々の発展にご尽力いただきますようお願いいたします。本日はありがとうございました。

地方創生特別委員会調査報告

地方創生特別委員会では、本町の地域活性化策を検討するうえで、その取り組むべき点など参考にするため、次の2箇所を調査しました。

- 有限会社 西田農産（西之表市西之表）
- 一般社団法人 なかわり生姜山農園（西之表市安城）



有限会社 西田農産

安納いもの栽培と6次産業化の取り組み

1 調査日

平成28年1月27日（水）

2 調査の概要

西田農産は、土木・港湾業を営んでいたが公共事業の減少に伴い、従業員の雇用確保のため、平成15年4月に農業生産法人を設立し農業に参入した。

資本金2000万円、経営面積、自社栽培面積922ha、契約面積911ha、従業員数108人である。

平成23年度の西之表市の青果用さつまいもの作付面積は約311haで、その中で安納いもの作付けは307haである。青果用の安納いもはキュアリング室と石倉貯蔵庫で60日以上熟成し、糖度13度以上を確保し県のブランド指定を受けている。

さつまいも焼酎の需要拡大や種子島の特産品である安納いものが注目を受けて規模拡大が図られるなか、連作障害を

防止するため、タマネギ、じゃがいもを作付けしている。

販路の拡大には、インターネットでの販売や行政からの専門家派遣の支援を受けている。規格外農作物については、大手製菓会社と提携し、安納いものみを使いさつまいもチップを製品化している。

3 意見

● テレビでおなじみの安納いもに特化し、年商65億円に至る経営展開は、糖度を上げる工夫、連作障害を防ぐ工夫など細部にわたるこだわりが成果と考える。

● 農業経営の主眼が、低コスト化・大規模化という風向きがあるが、本町も特産品への付加価値をさらに発揮すべきである。

● 社長が農業経験者であり、従業員も兼業農家で栽培上のノウハウに精通していたため

に栽培には問題はなかった。安納いもはブームによりインターネットでの注文が多い。当地域も高齢農家が多く、そのことによる耕作放棄地が問題であった。こうした現状に着眼し本業の建設業を生かした安納いもの栽培は、地域特産物の振興と耕作放棄地の解消の面で相乗効果が図られている。

● 本町も鹿屋市串良町の県農産加工センターの指導を仰ぎピーマン、キュウリの付加価値を高め、安定した所得向上を図る必要がある。

● 地元の特産物を利用した6次産業化の取り組みで、高齢者の生きがい対策になるような振興が求められる。



県のブランド指定を受けている「安納いも」



高齢者の生きがい対策にも一役買っている

一般社団法人なかわり生姜山農園 地域おこし協力隊員と 生姜づくりを復活

1 調査日

平成28年1月28日（木）

2 調査の概要

なかわり地区は、桜島が大正3年の大噴火で家や生活のかたを失った桜島の人々が、県のすすめにより移住し集落の礎を築いた。移住は耕地として割り当てられた原生林の開墾から始まり、少しずつ畑

地化し、さつまいもや生姜が栽培されるようになった。このように生姜の生産が盛んなことであつたことから、この地区は生姜山と呼ばれることになった。

移住から数年たつと鹿児島へ引き上げる人々が出るかわら、徳之島や沖永良部島から移住者も増え、昭和33年には1000人近くの人口に



活動についていきいきと語る遠藤裕美さん。
地域おこし協力隊員として生姜づくり復活を呼びかける。



生姜を使った商品が販売されている

なつた。しかし、その頃をピークに人口は減り始め、高齢化とともに生姜をつくる人もいなくなり、生姜山の地名だけが残つた。

活動拠点は休校中の学校

平成22年9月に西之表市が2名採用した「地域おこし協力隊員（内1人は遠藤裕美さん）」が、耕作放棄地で生姜

山の地域の由来となつた生姜をつくることを、住民に呼びかけた。区長をはじめ数人で休校中の学校を拠点として、「なかわり生姜山農園」を結

成した。平成24年には区長を代表理事にした「一般社団法人 なかわり生姜山農園」が設立された。なかわり生姜山農園は現在社員8人で生姜をつくっている。その生姜を利用しジャムや紅茶として販売を行い、その製造にあたっては高齢者の雇用に役立っている。

3 意見

● なかわり生姜山農園は、生姜山の地域の由来をきっかけに生姜を作付けすることになった。

本町も唐仁古墳群、柏原の松林を生かした町づくり、施設園芸を生かした町づくり、高齢化を生かした町づくりなど課題が多く残されている。

町民、議会、執行部が一体になって将来の町の方向性を見出すことが大事である。このことから、総務省が行っている地域おこし協力隊制度を活用し、本町の町おこしに寄与する必要がある。

● 廃校跡地を利用した点、生姜山の地名を復活させた点、耳にしていた「地域おこし協力隊」の活用など大いに参考になった。この事業の背景には緻密なプログラム策定があり、それに忠実にのっとりしていることにも目を見張つた。

● 地域おこし協力隊員でUターンした遠藤さんを中心に

した活動が成功しているように思う。

本町でも協力隊の活用がはかられるべきと考える。

● 首長が町をどのようにしたいのか、そのビジョンがなければ国の補助事業も活用できない。アンテナをオンにするのかオフにするかで違いが出てくる。

● 限界集落的なところで良く再生したなと思う。鹿の害獣駆除で1頭1万5000円出るといふ。やる気しだいで何でもできると考える。

● 水田に対する国の補助が3年後あたりでなくなる。本町でもこのことから、水田地区の集落対策でこうした協力隊の活用が望まれる。本町の企画力を大いに高める必要がある。

地域おこし協力隊とは

大都市圏から過疎地域に生活拠点を移して地域おこし活動をしながら、定住を図る取り組み。

総務省が2009年度から始め、自治体の募集経費（上限200万円）や隊員1

人あたりの活動経費（上限400万円）などを支援する。

自治体の受け入れ人数に制限はなく、協力隊員は年々増えている。14年度は444自治体で計1511人が活動した。隊員の約8割が20〜30代。任期はおおむね1年以上3年以下。約6割が任期終了後もその地域に定住している。

第5回目の募集

議会だよりに掲載しませんか？

例えば

1. この町に住んで感じる事(400字程度)
2. 将来の夢(400字程度)
3. 東串良町の未来図(図画)
4. 自慢のワンショット写真
5. 自作の4コマ漫画
6. イラスト など

【応募方法】

東串良町議会事務局まで郵送またはメールで応募してください。(持参可)

なお、応募者は次の事項を必ず記入してください。

住所、氏名、年齢(学校名と学年)、電話番号、匿名希望者はペンネーム

【応募先】

〒893-1693 東串良町川西1543番地 東串良町議会事務局
メールアドレス: gikai @ higashikushira.com

【しめきり】平成28年7月15日必着

【注 意】作品の返品はいたしません。

●議会だより「東くしら」に採用された方には、図書カードをお送りします。

●応募作品は、第130号(8月発行)で掲載する予定です。

投稿
まっ
まーす!



今日からピカピカの一年生



新しいお友達と笑顔でパシャリ



～ 入学式・入園式 ～

会議録の設置



定例会や臨時会の会議録は、次の町内3箇所に設置しています。

- ☆役場1階ロビー本棚
- ☆福祉センター
- ☆総合センター



池之原幼稚園のおともだち

町内の巡回活動

定期的に議員全員で町内を巡回し、道路等の危険箇所を調査しています。調査後、意見の集約を行い、町の所管課へ改善要求を行っています。



▲排水路に蓋があり掃除ができないため詰まっている。夏など蚊がわき異臭がする（豊栄地区）



▲大雨時住宅から水がきて消防車庫前の道路が冠水する。道路が沈下しているようで、排水路の改善が必要である（別府原消防分団前）



▲排水路が用をなしていない。大きくするなど改善の必要がある。また出入口のカーブミラーの向きがあていない（別府原団地）



▲大雨時など店の前の道路が冠水し、通行する車のはね水が店の中に入ってくる（川西地区 山中商店前）

★巡回 7 回目★
平成28年 2月 3日
巡回地 池之原校区

危険箇所等調査してもらいたい所がありましたらご連絡ください。
【連絡先】 東串良町議会事務局 ☎ 0994-63-3132

議会を傍聴してみませんか！

手続きは簡単です。
本会議の当日、傍聴人名簿に住所・氏名を記入していただくだけです。
議会を傍聴することは、町政を知る良い機会ですので、ぜひお越しください。

6月議会は、
10日からの
開会予定です。



※本会議については、防災無線でお知らせします。

輪^わ和^わ話^わのひろば

Vol.10

このコーナーは、町内のあらゆる「ひろがり」や「つながり」を伝える目的で企画しました。名付けて『輪和話のひろば』です。

町民の皆さんに登場していただき、もつと議会だよりを身近に感じてほしいと思います。

また、ご一報いただければ取材に伺います。よろしくお願ひします。

郷土芸能を残そう 池之原下集落の棒踊り

今回は、池之原下集落の棒踊りを紹介します。

池之原下集落は、本来2月25日が祭りでありますが、学校関係で25日より前の日曜日に棒踊りを開催しています。

起源は、明治32年鹿屋市祇川に住んでいた柿元氏が池之原に住みつきましたのが始まりです。少子化に伴い、一時は途絶えていましたが、平成16年から地域の要望があった

ために復活しました。

池之原青年団を中心に、小学生、中学生、保護者、集落の協力を得て、廣田神社で棒踊りの奉納とかぎ引き（雄木と雌木を組ませて引き合つ）を行います。その後は各家庭を回り、五穀豊穡の祈願と子ども達との交流を図り、地域の活性化に取り組んでいます。

青年団員である駿河崎勇二さんは、たくさんの人とふれあい、交流を図り、郷土芸能を絶やすことなく存続させたいと話されました。

取材を終えて

以前は各集落で棒踊り、鉦^{かね}打ち、十五夜、素人舞踊等がありました。しかし昨今では各集落とも少子化が進行し、行事も途絶えてきています。

集落民こそつて郷土芸能を存続させることは大変重要なことです。今後継続して集落民のきずなと交流を深めて頂きたいと思ひます。

取材者 泊 重巳



表紙の案内 第12回 かごしまファンデー



4月17日、大阪市の京セラドームで開催され、ふるさとを懐かしむ約3万5000人の来場者で賑わいました。

広いドーム内には物産・観光コーナー、芸能ステージ、子ども遊園コーナー、焼酎コーナーなどが設けられていました。

本町からも物産コーナーに村山製油、東串良町園芸振興会、前田商店が出店しました。県ブランドのピーマン、きゅうりは開店と同時にほぼ完売の盛況ぶりでした。

編集後記

今年も柏原小学校の卒業式に参加しました。

一人ひとりに卒業証書が授与され、型通りの式辞、告辞、祝辞などが終わるといよいよ卒業生・在校生のお別れのこゝろが始まりました。

私は、この対面・対話方式で行われるお別れの言葉にいつも感動します。卒業生と在校生が起立して全員でこの6年間の学校生活を振り返り、学び、遊び、どんなに成長したかを確認しあう対話です。

そして卒業生は先生方を向いて感謝の言葉を述べます。それに先生方が歌を歌って激励します。さらに来賓席のわれわれ地域の住民へも、親御さんへもお礼の言葉が述べられます。

大きな声で、ある時は全員

で、あるときは一人ずつ、こんなにも長い文章を最後まで良く覚えたものだとまず感じました。しかし良く考えると、本当に今話している気持ちそのものになりきっているからこそ、あんなに間違えもせず、生き生きと話せるのだと思うことでした。

今年18名の卒業生が池之原小学校の卒業生といっしょに中学に進学しました。校訓である「かしこく、やさしく、たくましく」成長した柏原の子のますますの成長を願った卒業式でした。

▼広報編集委員会

- 編集委員長 原田 猛
- 編集副委員長 瀬戸山 譲一
- 編集委員 泊 重巳
- 〃 前田 隆
- 〃 上園 ミキ
- 〃 宮地 利雄